



## ハート保育園 R8年5月の病児室だより

お預かり：月～金曜日 お預かり時間：8:30～17:00 TEL：098-989-0045

今年度もスタートして1カ月が経ちました。5月は連休もあり、新年度始めの疲れも出やすくなります。十分な睡眠・栄養を取って体調管理に気を付けていきましょう。

1. 県内において4月に麻しん（はしか）の発生が報告されています。全国でも1月から139名の報告があるようです。麻しんは、非常に感染力が強く、1999年に流行した際には、県内でも2000人以上が感染し、乳幼児（0歳から3歳）の8人が死亡している怖い感染症です。予防にはワクチン接種が有効で、2回のワクチン接種で95%の予防効果があるとされています。今回は、麻しんについて説明させていただきます。

### ①麻しん（はしか）とは

麻しんウイルスによって引き起こされる急性の感染症です。感性経路は、空気感染・飛沫感染・接触感染で、人から人へ感染し、感染力は非常に強いとされています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、1度感染して発症すると一生免疫が持続するといわれています。

### ②潜伏期間

ウイルスに感染してから発症するまで平均10～12日間です。この期間は無症状の事もあります。発症の1日前から解熱後3日を経過するまで感染力があり、他者に移す期間があります。

### ③主な症状

#### 1) カタル期

38～39℃の発熱、鼻水、咳、結膜炎（目が赤くなる）。この時期が最も感染力が強い期間です。風邪との見分けが付きにくく、特徴的な症状として口の中に白い斑点（コプリック斑）が2～3日だけ現れます。

#### 2) 発疹期

高熱（40℃前後）と全身への発疹拡大（赤いブツブツ）がみられ、耳の後ろ、首から始まる赤い発疹が、お腹周り、背中回り、手足へと広がります。熱が再上昇し、この時期が最も体調が悪くなります。

### 3) 回復期

発疹が消え、熱がさがります。合併症が無ければ徐々に回復しますが、麻疹ウイルスは感染後に既存の免疫を破壊するため、免疫機能の低下が数週間から数カ月続きます。これを免疫健忘と言い、回復後も他の感染症にかかりやすくなります。

### ④治療法

基本的には、発熱にたいする解熱剤等の対処療法となります。

### ⑤合併症

- ・肺炎
- ・脳炎（麻疹脳炎）→ 1000人に一人発症。けいれんや意識障害が起き、後遺症として知的障害・麻痺が残ることがある。
- ・SSPE(亜急性硬化性全脳炎)→数年後に発症する致死的な脳炎。1歳未満で麻疹にかかると発症率が高い。
- ・中耳炎→頻度が高い、難聴につながる事もある。

### ⑥予防と対策

麻疹は感染力が強く、空気感染もするため手洗い・マスクのみでは予防できません。  
MRワクチン（麻疹・風疹混合）が最も有効な予防法とされています。

定期接種対象者（1歳児・小学校入学前1年間のは幼児）は予防接種が終わっているか親子手帳（旧母子手帳）を確認し、まだなら早めに接種しましょう。定期接種期間を過ぎると自費扱いになる事もあります。

麻疹に感染すると、保育園や学校は出席停止になります。期間は学校保健安全法にて解熱後3日を過ぎるまでとなっていますが、発疹出現後5日間は感染力があるため、発熱や発疹が消えても、すぐには登園せず医師の診察を受けて許可を得てから登校しましょう。

以上となりますが、症状がある場合は医療機関に連絡した上で受診しましょう。受診の際も、できるだけ公共機関を利用しないようにしましょう。麻疹が否定されるまで外出を控えましょう。

### おきなわ #7119 電話相談について

#7119は急なけがや病気の際、救急車を呼んだ方がいいのか、すぐに病院へ行った方がいいのか等について医師や看護師からアドバイスを受けられる電話相談窓口です。通話料はかかりますが、携帯や固定電話から24時間365日相談は無料となります。